

まゆだま

2010.11.2発行
No. 340



連絡先：高田（榎原小学校）
東京歴教協 八王子支部

～ 台風14号の影響もあってか、冷え冷えした10月の終わりとなりました。息つく間もなく行事に追われる11月がやってきましたが、毎日の業務・生活の繰り返しに追われて、ふと”自分が学ぶことを忘れてるな”と思った時には、ぜひ毎月第3土曜日の午後を例会参加の時間に見ませんか？八王子支部は小学校の先生方を中心に、中学・高校・大学の先生・一般市民の方の参加で構成されている学び合いの集団です。いざ、鎌倉・・・ではなく高尾へ！～

10月の例会報告

まだまだ汗ばむ秋かなと思いきや、この例会からはあっという間に真冬並みの寒さになってしまった10月。この日は秋晴れで半袖でも平気なくらいの陽気となりました。今月の例会は、八王子支部と浅川地下壕の保存をすすめる会の共催で行われました。いつもの会場の横の部屋もつなげて2倍の大広間にしましたが、あっという間に50名近い満席状態となりました。（有り難い！）

この日は、「多摩の学徒勤労働員」をテーマにして、当時中学生だった体験者のお話を聞く、というスタイルで行われました。今どきの中高生・大学生が「お国のため、大義のため」に学校に行かず労働に従事できるかは何となく結論づけられそうですが、その当時の中学生はどのような心境で働き、それを今にどうつなげているのでしょうか？この日の体験者の皆さんの話を聞く私たちには、会が始まる前からいろいろな思いが巡っていました。

はじめに、司会の齊藤さんより学徒勤労働員についての説明がありました。

学徒勤労働員とは、1937年の日中戦争開始と同時に、生徒・児童を戦死者の遺骨の出迎えや慰霊行事への参列、出征遺家族の労力奉仕に参加させたことに始まる戦争関連の作業のことです。この時から1945年8月の敗戦の時までに、全国およそ130万人の学徒が動員されていたといわれます。その結果、敗戦後には「学力の低下・教師観の転換・現場作業への抵抗感の減少」というものが残ったようです。

今日はここ高尾の浅川地下工場で実際に学徒勤労働をされていた皆さんに、当時の貴重なお話を伺いたいと思います。それでは皆さん、宜しくお願いします。



【エピソードⅠ】

私が動員されたのはたしか、1945年の春でした。4月だったかな・・・なあ、え？3月。5月ではないな。と仲間には問い直してもはっきりしないという65年前の記憶。工場が何を作っているのかも知らなかった人もいます。でも8月15日まで働いて、それで終わりだったと。玉音放送の中身はほとんど聞き取れなかったとも話して下さいました。ここにいる仲間の記憶はそれぞれ違うので、皆さんがつないで下さい。



【エピソードⅡ】

私もはっきり覚えていることと、覚えていないことがあります。私は工場内ではなく、外の小屋の屋根の松ヤニ（タール）を塗るのが仕事でした。白米のおにぎりを2個もらい、1個は妹のために持ち帰りました。最初は白米だけでしたが、そのうち生大豆が入るようになり、大きさも小さくなっていったように覚えています。その後北海道へ渡り、8月15日には東京にいませんでした。すいません、そんなところです。



【エピソードⅢ】

その当時、渋谷周辺にいた我々が浅川駅（現在の高尾駅）まで通うには、片道2時間半程度でした。朝鮮の方々がいたのは知りませんでした。工場内で何をしているかは教えてもらえませんでしたから。帰りは疲れて寝過ごすこともありました。工場に行くと授業は全て免除で「優」がもらえたので、何となく納得していたように思います。自分が国のために役立っているという自負はありました。それが当然の時代でした。



【エピソードⅣ】

私は朝鮮の人と、トンネル内の水はけを良くする作業をした。入口は杉の葉でカモフラージュするのが仕事だった。419列車の事故の後片付けにも立ち会った。女性を起こそうとしたら顔が無かった。他にもあった遺体を雨戸に載せて運んだら、自分が全身血だらけになるくらい垂れてきた。その当時のグラマンかP51だったかははっきりしていないが、機銃掃射も体験している。現在の高尾駅ホームの跡はそれです。

こうしてエピソード形式で9名の方の話を順に伺っていきました。一通り話が終わりましたが、仲間の話を聞いているうちに、また思い出したこともあり交代でマイクを握り次々と語り継がれていきました。お一人お一人のお話は記憶の断片を紹介していただくのですが、それが9人の記憶となつてつなげていくと、当時の浅川地下壕の雰囲気や、食糧事情、交通事情、戦局や戦禍の認識、学徒(中学生・高校生)達の動員された時代の様子がおぼろげに見えてきます。また、体験者の一人の方は、加えてこんなこともお話し下さいました。

今日は、久しぶりのあの当時に思い出させてくれた貴重な時間でした。この機会を作ってくれた会の皆様に感謝します。午前中に地下壕を案内して下さった方も高校の先生だと聞いています。この会には学校の先生方も多く参加していると聞きました。そこで一言お願いがあります。

あの当時中学生だった私は、戦争に参加するのは当たり前と思っていました。まだ年齢が若くて軍人になれないなら、せめて勤労奉仕でお国のために役にたとうと本気で思っていました。そういう気持ちにさせたのは、学校の教育です。学校の先生の教えです。年を重ねた今ならあのような悲惨なことは二度と起こしてはならないと思えますが、子どもは、国の、大人の、教育の力でいかようにも育てることができるのです。

毎朝奉安殿に向かって挨拶をし、校長先生から日本は勝つと教わり、担任からは君たちが明日の日本を支えろと言われ、共に軍歌を歌い、英語を使わず、情報が操作されていけば、簡単に洗脳することができるのです。どうか今日の話の参考にしなが、これからの学校教育で、戦争に荷担するような子どもを作らない、ようにしていただきたいのです。

この後、質問や意見交換の時間になりましたが、今日の会合を新聞で見て知った方が、「こんな活動をしている会があるなんて初めて知りました。私も浅川地下壕で働いていたんです。」と告白があったり、他にも「私の家には陸軍の将校がいた」とか「自分が大学生の時にこの浅川地下壕にいて、学徒動員で来た高校生・中学生の世話をしていた」という事も判明していきました。

これらの話を総括すると、この時期の学徒隊の編成や仕事内容はそれぞれ違っていて、他の隊とはお互いに交流はなかったようです。今回の証言者達が通っていた光生学園も戦後廃校になってしまい、その当時の記録は残っていないのです。さらに年々風化していく戦争の記憶。敗戦65年という歴史は、私たちに訴えようとしている先人の思いまで消し去ろうとしています。

しかし、今回の学習会では、過去の歴史に学ぶこと、未来につなげていくことが大切だということを、あらためて教えてくれたような気がします。地域に根ざして学びを広め深める活動を今後も地道に続けていこうと誓う、「浅川地下壕の保存をすすめる会」と「歴史教育者協議会八王子支部」の面々でした。

「浅川地下壕の保存をすすめる会」事務局
〒252-0116 神奈川県相模原市緑区城山4-16-25
山梨喜正 気付 yamanashi@asahi.email.ne.jp

入会・見学会の申込み
講師派遣他お問い合わせ

↑歴教協と合わせて御参加下さい。地下壕に入ってみてわかることって、ありますよ。↑
○ 参加者の感想より ○

若い世代が学ぶのは、明日に役立つノウハウばかりなので今日は若い先生の参加が無かった。関心がないのか、参加できないくらい日常に疲弊しているのか、最近の教育現場の無関心加減が心配になってしまった。証言者の教育の大切さをしっかりと感じ取れる教師でいたいと深く思った。

今日は貴重な体験談を聞くことが出来て良かったです。参加している人は平均年齢が高かったので内容はよく分かっていらしたと思いますが、きっと若い人には遠い昔の話で、何を言っているのかわからないでしょう。証言者の方は教育の怖さをおっしゃっていましたが、自分も全く同感です。学校の先生の戦争体験が無い時代に、このような歴史教育の難しさを感じました。

保存の会の方々の活動は教育活動というより市民運動のようなもので、その活動の重要性を感じています。「過去の事実を知らなければ考えようがない」、そのために語り継ぐ人が必要なのです。高尾の山の下に、そのようなものがあつたなんて知らなかった、という高齢者も少なくありません。それは軍事機密が守られていたその当時の日本の状況があつたからです。今回のお話にもあつたように、地下工場で何をしていたのかを知らずに働いていた労働者も多かつたようです。

浅川地下壕の学徒勤労働員を体験された方にお話を聞くことができ、とても良かったです。今回話された9人の方たちは80歳ぐらいで、皆さん元気で浅川地下壕を見学されていました。皆さんの話を聞き、初めて聞く内容が多かつたです。

* 都心の自宅より2時間近くかけて浅川駅(現在の高尾駅)まで通われていた。
* 地下壕の中の仕事をしていたのかと思ったら、周りの整備や畑仕事などしていたこと。
私は今日、皆さんの話を聞きながら、自分の父親の人生を思い出していました。私の父は戦時中大学に進学したかったが、周りの人に陸軍学校に入学することを勧められたそうです。性格的に、軍人にまったく合わない人で、大学にいけなかったことを死ぬまで悔しがっていました。今回は貴重な生の話を体験者9人の方から聞いたことに感謝しています。

○ 11月例会のご案内 ○ ~西八王子会場の巻~

★11月例会 ~授業実践報告「3年生の蚕学習」~

報告者：結城 しのぶ さん(啓明学園初等学校教諭)
日時：2010年11月20日(土) 14:00~16:30
場所：台町市民センター(JR西八王子南口より徒歩12分)
※いつもの浅川市民センターではありません!御注意下さい!※

